

2011年 関西学院大学災害復興制度研究所

復興・減災フォーラム

災害は、社会が抱える病巣を一気に顕在化してみせる。孤独死、アルコール依存症、自殺、急速な過疎化、地場産業の衰退、限界集落・消滅集落の増加、治山・治水力の後退……。これらは、災害によって脆弱な階層・脆弱な地域の危うい均衡が壊されたことによる負の回答といえるだろう。これらを硬直的な防災教育や既存の復興支援策で解決しようとしたところに問題が残された。われわれは地道だが、今こそコミュニティと脆弱な階層を支える「地域力」「市民力」「統治力」を育てるための議論を始めなければならない。

■日時 2011年1月8日(土)～10日(月・祝)

8(土)
日
SATURDAY

場所：関西学院大学西宮上ヶ原キャンパス F号館102号教室 時間：10:00～15:00

◆ 研究報告

9(日)
日
SUNDAY

場所：関西学院会館 風の間 時間：15:00～18:00

◆ 全国被災地交流集会 宮城・栗駒、新潟・能登、鳥取・日野、三宅島、神戸など被災地からゲストを迎える。

13:00～14:30 日本災害復興学会 総会(関西学院大学西宮上ヶ原キャンパス F号館102号教室)

10(月)
日
MONDAY

場所：関西学院会館 レセプションホール 時間：10:00～17:00

◆ 展示と講演 「絵巻物と児童画で見る震災」 北原 糸子(神奈川大学非文学資料センター研究員)

午後の部 13:00

「原日本人のレクイエムとルネッサンス」(仮題)

◆ 特別講演

あん・まくどなるど(国連大学高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット所長)

◆ パネルディスカッション 今、問い直そう～原日本の再生サイクル

《パネリスト》50音順

飯泉 嘉門(徳島県知事)、稲垣 文彦(中越復興市民会議代表)、
曾根 英二(阪南大学教授)、丸山 結香(やまこし道楽村代表取締役)

《コーディネーター》

室崎 益輝(関西学院大学 災害復興制度研究所所長)

■ご応募方法■

参加ご希望の方は住所・氏名・連絡先・傍聴希望日を明記の上、右記宛に郵便、FAXまたは研究所公式HPの「お問い合わせページ」にてお申し込みください。(入場無料)

〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原1番町1-155
関西学院大学災害復興制度研究所
<http://www.fukkou.net/>
FAX: 0798-54-6997

会場の都合上、9日は定員70名、10日は定員150名になり次第、締め切らせていただきます。(8日は申し込み不要)
なお、お申し込み時点で、既に受付が終了していた場合は、その旨折り返しご連絡させていただきます。参加証等は発行いたしませんので当日は直接会場までお越しください。

■主催：関西学院大学災害復興制度研究所 ■共催：日本災害復興学会(8～9日) ■後援：朝日新聞社(10日)